京都「被爆二世・三世の会」会報

京都市中京区壬生仙念町３０-２
ラボール京都５階
京都原水爆被災者懇談会気付
ＴＥＬ075-811-3203
ＦＡＸ075-811-3213
ＨＰ　http://aogiri2-3.jp

Kyoto Association of 2nd & 3rd Generation *Hibakusha*（Atomic Bomb Survivors）

核兵器禁止条約の批准を求める新しいポスター

会員から会員へ　＊　みなさんからのお便り紹介　2
本・ＤＶＤ・映画・番組の紹介と交流　6
「ナガサキの郵便配達」
２０２３年度年会費お支払いのお願い　6
SCRAPBOOK／「疑わしい人　全て被爆者　「黒い雨」救済へ原告団結成」（中國）　7
編集後記　7
２０２３年５月の行事カレンダー　8

会員から会員へ　✿　みなさんからのお便り紹介

他地域の２世・３世の方からいただいたお便りも紹介いたします。

■アメリカのＤｏｗｎｗｉｎｄｅｒｓの本出版～　宮本ゆきさんが翻訳

守田敏也（左京区）

アメリカの Downwinders（風下住民）のトリシャ・Ｔ・プリティキンさん、ハンフォードの風下で本人も被ばくされた人です。裁判での証言集を出版されました。それをシカゴ在住の宮本ゆきさんが翻訳されて、日本語版も出版されました。トリシャ・プリティキンさんは１８歳の時、突然体調がメチャクチャ悪くなって、苦しみながら、それから弁護士になって、今の裁判を切り開いてきた人です。私たちにとってもとても価値の高い本ではないかと思います。

紹介された本は

『黙殺された被曝者の声～アメリカ・ハンフォード正義を求めて闘った原告たち』

トリシャ・Ｔ・プリティキン著　宮本ゆき訳　明石書店

■１１月のＩＣＲＰのシンポジウムに対抗して

守田敏也（左京区）

今年の１１月、ＩＣＲＰ（国際放射線防護委員会）が東京でシンポジウムをやります。このシンポはＩＣＲＰが２０１１年から始めているもので、２年ごとに各国を回って繰り返し開催してきました。いよいよ日本に乗り込んでくる感じで、福島第一原発事故に焦点をあててやるのは明確です。一番メインに何を持ってくるのか、まだよく分かっていませんが、言われているのは、１００ミリシーベルト以下とか、今一応ＬＮＴ仮説と言ってしきい値はないとなっているじゃないですか、それを書き換えようとしているらしい。低線量は大丈夫だと。それと遺伝の問題をどこまで言うのかまだ分かりませんけど、ＩＣＲＰとかＵＮＳＣＥＡＲは一番それを繰り返し言っていることです。

そこで、私たちは秋には健康調査アンケートの報告書を発表して会見もやろうとしているわけですが、この時期に、ＩＣＲＰのシンポの前に、こちら側から対抗するようにして出していってはどうかと思います。

琉球大学名誉教授の矢ヶ崎先生のお話では、ＩＣＲＰ批判をもう一度しっかりと書きたいとおっしゃっています。私たちもＩＣＲＰがこれまでどんなことを言ってきたのか、の学習をきちんとやっておく必要があります。ＩＣＲＰはその主張をどんどん変えてきているので、シンポの開催に備えてこちら側からカウンターしていきましょう。

■諫早の慰霊の碑

守田敏也（左京区）

８月１０日にはまた長崎県の諫早市に行きます。諫早の被爆者の慰霊の碑の前で追悼会に参加するためです。諫早の被爆二世の会の主催です。行ける人は一緒に行きましょう。

■これからは例会にも出席

鳥羽洋子（茨木市）

昨年度までは水曜日の夜は塾の講師をしていたのでなかなか例会にも参加できませんでしたが、これからは参加できると思います。

９７歳になる母は元気です。２月２４日には私と一緒に茨木市にある診療所の「戦争を語る会」に参加させてもらい、母の被爆体験を証言させてもらいました。４０人ほどの参加でした。パワーポイントを使い、私が母にインタビューして語る、

というやり方です。

それから、私は毎年一人の被爆者の被爆体験をフランス語訳し続けています。３人でチームを組んでのとりくみです。最近では山口よしこさんという方の体験を翻訳しました。この方の体験は広島の原爆死没者追悼平和記念館に収蔵されていますので、機会のある人はご覧下さい。

■被爆体験伝承者の委嘱式

庄田政江（大阪市平野区）

広島市の被爆体験伝承者の委嘱式が４月７日あり、出席してきました。今年委嘱されたのは３３人でした。今年から「家族伝承」もできるようになって、家族伝承者７人も一緒でした。これで私も定例講話かできるようになりました。

広島原爆資料館には外国人が溢れ、久しぶりに活気がありました。

被爆体験伝承の英訳にも挑んでいて、早速英文に翻訳しようと思ってＡＩＤｅｅｐＬを使用したところ、即座にこなれた英文が現れてびっくりしました。こんなに便利なのか、と。２６ヶ国語もあって、かなり翻訳も正確で、しかも無料。とても便利なような、恐いような、どこかＡＩに馬鹿にされているような・・・・。とても便利ですが、心の中は複雑な感じですけど。皆さんも便利なツールを試してみて下さい。

広島に行くと、友だちが色々な所に連れて行ってくれます。先日も、広島で被爆された南方特別留学生の寮があった跡の記念碑が元安川の傍にあって、それを見てきました。ここを巣立った人たちがその後いろんな国の偉い人になっていらっしゃる。オマールさんもここにいらっしゃったんだなあ、と思いながら。

■私もＡＩに挑戦

吉田妙子（北区）

いろいろ忙しい中でも６・９行動を毎月続けていて、二条城でやっています。最近はインバウンドが元に戻ってきていて、とにかく外国人が多い。８０％は外国からの観光客ではないかと思います。６・９行動で「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める」署名です、と説明するのがとても難しい。さきほど庄田さんがおっしゃっていたＡＩを使う話、一度チェックしてみようと思います。

■外国人に署名を訴えるために英会話学習にチャレンジ

掘　照美（上京区）

今年４月から、親の介護に専念しようと教員を完全退職しました。

そして、退職したことで、京教組女性部が続けてきた清水寺６．９行動に平日も参加出来るようになりました。コロナの規制が緩和されて海外からの参拝者も増えてきたので、被爆２世としての自分の思いを伝えることが出来たらと思うようになりました。

そこで、一念発起して週１回英会話を習うことにしました。先日、２回目のレッスンを終えたのですが、ネイティヴの先生のおっしゃることがちんぷんかんぷんで、苦労しています。

でも、なんとか片言でも思いを伝えられるようになるために頑張ります。

■「福島原発事故から健康とくらしを守る会」の署名運動にご協力を

森川聖詩（神奈川県原爆被災者の会二世・三世支部）

「福島原発事故被害から健康と暮らしを守る会」というところから署名の協力を求められています。政府の「医療・介護保険料及び医療費の減免措置」見直し方針撤回と、全ての原発事故被害者に、国の責任で無料の医療等を保障する「健康手帳」の交付を求める署名です。

京都の会員のみなさんにも是非協力をお願いします。

■ルーツを訪ねて

増田正昭（下京区）

３月の榊原さんの語り継ぎプロジェクトがきっかけになって、私自身の被爆二世としてのルーツ、生い立ちを求めていく決意をしました。父、母ともに何も語らずに亡くなってしまっているので。まず亡くなった母の肖像画を描き始めています。肖像画を描きながらルーツを探る旅に出かけます。昨日は加古川市にあるお墓にお参りしてきました。４月２４日からは広島に行って、親せきやいとこを訪ね歩いてきます。

そんなとりくみをしている内に、毎年開催している個展を広島でも開催できないかと考え始めています。個展の会場はなんとかなると思いますが、作品の搬送が大変です。広島に住んでいる西河内さんや、小山さんにも相談しています。みなさんにも是非お知恵をお借りしたいです。

制作中の母の肖像画

尚、２０２３年度の京都での個展は、９月２４日(日)～９月３０日(土)と決めました。会場はいつものGalleryTake twoです。

■税務相談禁止命令の成立に危機感

米重俊男（北区）

国の予算が３月末成立しました。その中で、税法改正で、国から税務相談の禁止命令が出せるようになりました。これは重大なことだな、と懸念しています。軍拡のための大増税と合わせてすすめられる可能性があります。「軍拡に反対する」運動をとりくもうと思った時、禁止命令が出されて難しくなっていく、そんなことにもなりかねないと心配しています。

■祝園(ほうその)弾薬庫の危険性を考える緊急集会に６０人

平　信行（南区）

岸田政権が突然、自衛隊基地の「強靭化」計画と合わせて全国の自衛隊弾薬庫の拡大強化方針を打ち出しました。敵基地攻撃能力保有のために数千キロに及ぶ長射程ミサイルを保有管理するためです。京都府精華町にある祝園弾薬庫も対象です。そこで、３月２５日（土)、地元の人々による緊急集会がもたれ６０人ほどの参加者で、私も参加してきました。

集会では、祝園(ほうその)弾薬庫が作られてきた歴史と今日までの経緯、長射程ミサイル計画の重大問題、弾薬庫が拡大強化された場合の危険性について、これまで熱心に取り組まれてきた地元の人々によって説明され、聞くだけでも大変勉強になる内容でした。

帰りに弾薬庫の入口門前まで立ち寄り、臨場感も少し感じてきました。長射程ミサイルのために拡大強化されれば、弾頭の爆弾の破壊力増大だけ

でなく、長距離にわたってミサイルを飛ばすために搭載する燃料も莫大な量となる。それが広範囲な住宅地や学研都市に隣接して設置されることの危険性は素人目にも一目瞭然でした。

岸田政権による傍若無人な大軍拡計画。何としても阻止しなければ・・・・・。

■西日本放送「たねをまこう」で語り部の放送

国広博子（高松市）

ご無沙汰しておりますがお変わりありませんか。
桜🌸満開、お花見は行かれましたか？
私は、「来年は来れるかしら・・・」という両親を連れて行ってきました。
お天気も良く、両親も喜んでくれて幸せなひとときを過ごすことができました。
昨年末、３回目の語り部をした時、もう一人の被爆者の語り部活動を取材に来ていた地元の放送局の記者が、私の語り部を聞いて、いろいろ話が聞きたいと３回取材されました。
開局７０年の企画、「たねをまこう」のコーナーで２回に分けて放送されました。
こんな機会が来るなんて思っていなかったので戸惑いましたが、一緒に語り部をした長尾さん（９３歳男性）の微力だが無力ではない、という言葉に力に顔出しを決意しました。
平さんや加百さんのようにはいかないけど、私にできる範囲で平和を願って活動を継続していけたらと思っています。
いつも送っていただいている会報も力の元になっています。
ありがとうございます。
ＹｏｕＴｕｂｅにアップされましたので、ちょっと恥ずかしいですが、よかったらご覧になってみて下さい。
西日本放送―たねをまこう―で検索していただいたら出てくると思います。
暖かくなったとはいえ、まだまだ油断できないこの季節、お身体に気つけてお過ごしください。
🌸🌸🌸🌸🌸

国広さんとお父さん　YouTube より

本・DVD・映画・番組・その他の紹介と交流

■ナガサキの郵便配達　　ピーター・タウンゼント:著　中里重恭:訳

紹介　石角敏明（長岡京市）

スーパーエディション
１３２０円(税込)

守田さんの「長崎訪問活動」の中で紹介された「映画」の原作本？　皆さんもご存知のように「谷口スミテルさん」のたくましいというか、力強い半生を紹介し、著者・娘さんの「壮大な平和運動の成功を願う」という思いが託された書籍である。もし、この「映画」を見ていたらきっと「涙」を流していただろうと思える「スミテルさん」の生き方を力強く紹介されている。

前半の内容は、「原爆投下」をめぐる日米の動きが記されているが、「天皇」についての記述については「疑問」を感じざるをえない。

しかし、全体としては「核兵器廃絶」を願う著者の思いがにじみ出ている、「放射線」の影響についても詳しく調べられており、「原爆」「放射能」が及ぼす健康障害について知らなかった読者に大きな影響を与えたのではないか。「映画」でこの問題が取り上げられたかどうかはわからないが、取り上げていたら、「核抑止論者」からすれば、長期の上映は決して許されることではなかったであろう。

後半の「スミテルさん」の生き方には、感動というか素晴らしく。力強いものを覚える。（こんな表現しか出来なくてスミマセン）でも、自分の背中を多くの人に見せた時の思いを自分の子ども達に伝えた時の気持ち・思いをこの本を読み理解すれば、より「スミテルさん」の生き方の素晴らしさを知ることが出来るのではないだろうか。

この本が出版されて「３４年」経つという。「ぜひ多くの人に読んでほしい」という訳者・出版社の思い、そして著者の娘さんの願いをぜひ実現したい。そのために「廉価」に抑えられており、巻末に「振込用紙」も添付されている。「健康調査」を行っている二世・三世の会としても「健康問題」を考え・捉えるためにも、ぜひ一読してほしい。

2023年度年会費お支払いのお願い

京都「被爆二世・三世の会」の会計年度は４月１日～３月３１日です。
２０２３年度会費のお支払いをお願いします。年会費は２，０００円です。

■　振込でお支払いいただく場合は以下にお願いします。
郵便振替　記号０１０７０－６　番号４７８７０
加入者名　京都原水爆被災者懇談会
通信欄に「二世・三世の会」会費とご記入下さい。

■　京都銀行四条支店　店番１１１　口座番号４４７９６３
口座名　京都原水爆被災者懇談会　振込いただいたらご一報ください。

■　５月１３日年次総会の場でも受領いたします。

Scrap book

■「疑わしい人　全て被爆者」　「黒い雨」救済へ原告団結成　２８日に提訴

広島原爆の投下後に降った「黒い雨」の被害者救済を巡り、国が昨年４月に運用を始めた新たな被爆者認定基準の下で被爆者健康手帳を申請し、却下されるなどした広島県内の２３人が１５日、県と広島市に却下処分の取り消しなどを求める訴訟の原告団を結成した。２８日に広島地裁に提訴する。

２３人は７０～９０代で、現在の廿日市市吉和や同県北広島町大朝、安芸区などで雨に遭ったとして手帳を申請。１６人は却下され、残る７人は未処分のまま審査が長期化している。

この日、支援団体は原告たちと共に中区で集会を開いた。昨年１１月に却下された原告団長の岡久郁子さん（８２）＝西区＝は「疑わしい人（黒い雨に遭った可能性がある人）は全て被爆者と認めるのが国の本来の在り方だ」と訴えた。

黒い雨を巡っては、広島高裁が２０２１年７月、従来の援護対象区域より広範囲に雨が降った可能性があると指摘し、被害者の救済拡大を命じた。これを受けた新基準では黒い雨に遭った可能性を否定できず、がんなど１１疾病のいずれかにかかっていることを手帳交付の要件とした。

県と市によると、高裁判決後、今年３月末までに申請のあった計４６９６人のうち計１８４人が却下となった。

（２０２３年4月１６日　中國新聞）

編集後記

▼会報を毎月作成、編集していると、特集的記事がない場合もある。今月号はそんな月でした。そこで、4月１２日の例会で話し合われた参加者の近況報告、問題提起の一つひとつを抜粋・要約ではありますが紹介することにしました。被爆体験の証言活動、核兵器禁止条約のための署名活動等々、みなさん活発な活動をされているのが印象的でした。中でも、そのために英会話学習にチャレンジ、ＡＩを使っての英訳まで・・・今日らしいですね。▼５月１３日（土）は今年の年次総会です。記念講演で竹峰誠一郎先生から「マーシャル諸島の核被害」についてお話ししていただきます。グローバルな観点から核被害について学び、その中から私たちがどう生きていくのかを求めていきたいと思います。乞うご期待！（平）

２０２３年５月（皐月）行事カレンダー

月	日	曜	行　　事
５	１	月	メーデー
	２	火	八十八夜
	３	水	憲法記念日 ５・３憲法集会in京都(１３時３０分・円山公園音楽堂)
	４	木	みどりの日
	５	金	こどもの日　キンカン行動
	６	土	６・９行動　　立夏 ２０２３年国民平和大行進スタート　東京・夢の島
	７	日	
	８	月	
	９	火	６・９行動
	１０	水	
	１１	木	
	１２	金	キンカン行動
	１３	土	京都原水爆被災者懇談会２０２３年度総会(１１時・ラボール京都) 京都「被爆二世・三世の会」２０２３年度総会(13 時３０分・ラボール京都)
	１４	日	G7広島サミット市民集会(13 時３０分・広島ロードビル) 母の日
	１５	月	*沖縄施政権返還の日(1972 年)* 葵祭
	１６	火	
	１７	水	
	１８	木	
	１９	金	戦争法（安保法制）廃止をめざす 19 日行動（18 時 30 分・市役所前） G7 広島サミット　～　5月２１日(日)　キンカン行動
	２０	土	G7 サミット・ヒロシマ市民行進(１１時・広島市)
	２１	日	*ビキニ環礁でアメリカ水爆実験(ブラボー)(1956 年)*
	２２	月	
	２３	火	
	２４	水	京都「被爆二世・三世の会」5月例会(18 時３０分・ラボール京都)
	２５	木	
	２６	金	キンカン行動
	２７	土	
	２８	日	
	２９	月	
	３０	火	
	３１	水	